



2017年6月10日 チーム神於山活動報告

2017.6.13 シャープ社友会
チーム神於山 真砂 記

■活動日：2017年6月10日（土） 9：00～15：00

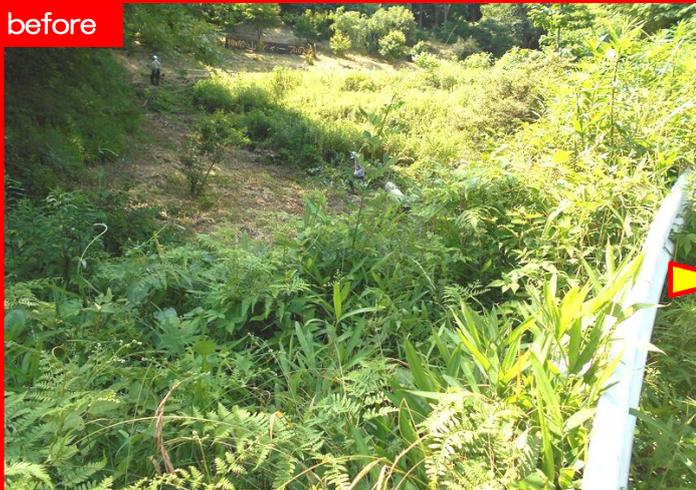
■参加者：チーム神於山 正会員 9名

■活動内容

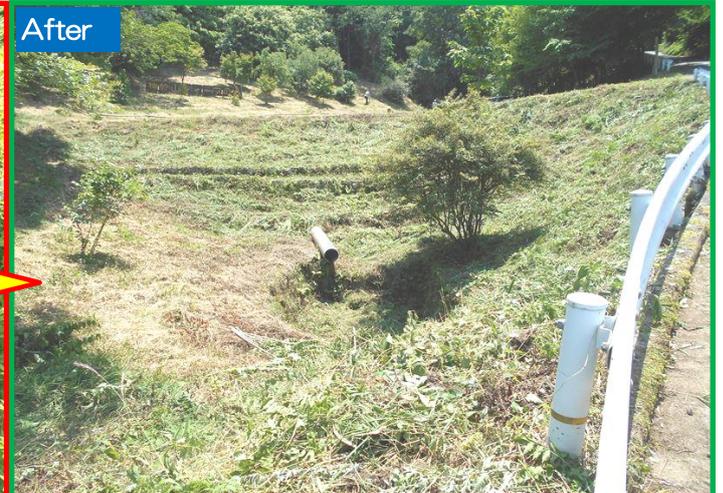
- ・サマータイム初日は好天に恵まれ、絶好の作業日和となりました。
- ・午前中のコアタイムのテーマは、暗渠回りを中心にした前回刈り残した雑草の刈込でしたが、予期以上の成果を収めました。
- ・また午後のフリータイムは、神於山の散策ルート確認と、シャープの森周辺散策に分かれて活動しました。
- ・神於山の散策ルート確認に向かった北浦さん、高瀬さん、金井さんご夫妻（午後参加）からは、遊歩道を含め、神於山の散策ルートが荒れているとの報告をいただきました。
- ・特に、国見台が周辺の木が育ち「国見台」の体をなしていないこと、「展望台」も、育った木が折角の景観の邪魔をしていること、またシャープの森の暗渠の天井が崩落していること等から、岸和田市に樹木の伐採等対策の検討をお願いしました。
- ・既に12日に現場確認に入っていたいただいたとのことですから、結果を待ちたいと思います。

■before/after-1 暗渠回りを とことん綺麗にしました。

before



After



暗渠とその周辺の斜面は見違えるほどスッキリしました。広さは左上の人の大きさと想定して下さい。

before



After



草に覆われ見えなかった暗渠の入口も現れ、全容が判るようになりました。暗渠入口は人が立って入れます。



藤尾池に繋がる暗渠の入口

- ・この暗渠は、シャープの森に降った雨水が林道の下を通り、藤尾池に流れるように作られています。
- ・晴れの日には、共同作業場や神於山保全くらぶさんの基地への近道で、保全くらぶさんは、イベントの散策コースに入れていますが、今回天井のコンクリートが崩落していて危険な状態であることが判ったので、岸和田市に連絡。補修工事を依頼しました。



崩落している暗渠の天井。

■コアタイムの暗渠回りの草刈りと整備

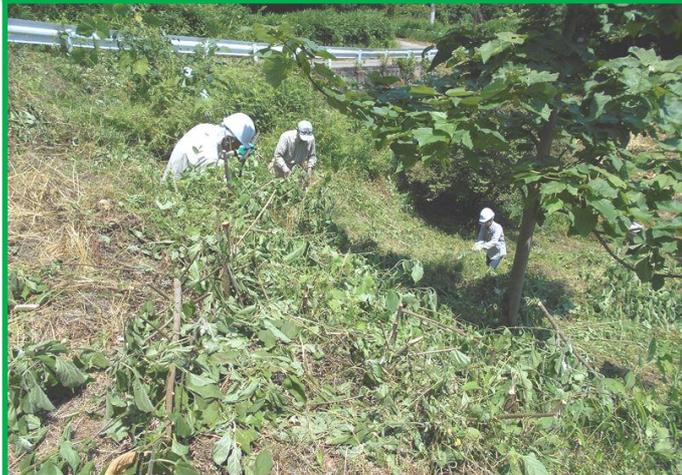
刈払機と、刈込鋏のコラボレーションです。



林道のガードレール沿いも丹念に刈り込みました。



見事に育った桐の木の周辺もチョコチョコキ。



刈込鋏は腰をかがめて使うので、かなり重労働です。

- 多目的広場から暗渠に繋がる斜面には、土止めに、角形じゃかご(通称ふとんかご)が使われています。
- ふとんかごは、太い針金で割石を包んだもので、チップソーを装着した刈払機は危険で作業できませんから刈込鋏で刈り込みました。
- 午前中のコアタイムで活動頂いた7名のメンバーの皆さん、お疲れ様でした。



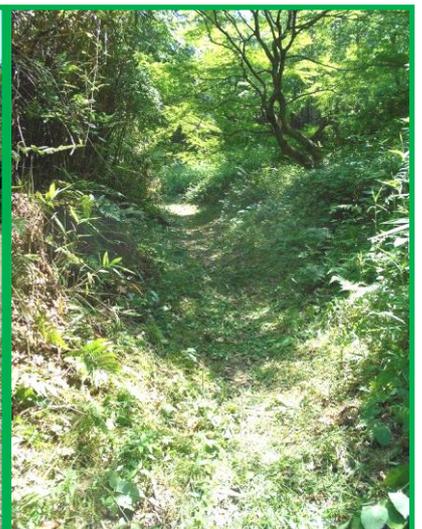
■スッキリした箇所色々



①ガードレール沿い



②暗渠の斜面と桐の木周辺



③上部植栽地への作業道。



④林道から国見台に向かう尾根道入口。

- 多目的広場から暗渠に繋がる斜面の桐は、発芽率が高く 又成長も早いので、当初は伐採する考えでしたが、吉田さんから真っ直ぐ伸びていて珍しいから残したらという提案があり、予定を変更して残すことにしました。
- 桐は、伝統的に神聖な木とみなされていますから、エノキ・コナラに次いで第3の「守り神の木」にすることも考えます。
- 上部植栽地への作業道の刈込は、小林さんの単独活動成果です。フクロウの営巣地までスッキリしました。

■活動頂いた7名の皆さん。

大きく育った香遠さん寄贈の暗渠の斜面のサクランボの木を囲んでの一枚。



■午後のフリータイム

シャープの森と、近隣の共同作業場の周辺を散策しました。

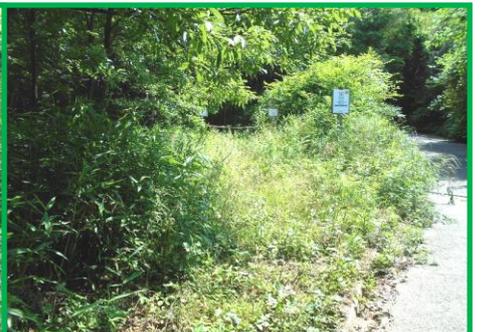


(写真上) 今年もヤマモモの木2本が沢山実を付けています。
・今月末から来月が収穫期になると思いますので、昨年の轍を踏まぬように収穫には万全を期したいと思っています。

(写真中) 神於山保全くらぶさんが共同作業場前に建てた竹の家。
・愛彩ランドの駐車場で開催された竹オブジェの廃材を使って作られたようで、屋根は凝った作りのビニールシート張りです。
・予定している「昼寝の床」の参考にします。



(写真下) 上部植栽地の様子
・太陽光が遮られ雑草は姿を消しましたが、入れ替わりで生命力の強いネザサがびっしり出始めました。
・又、細い木が林立している感がありますから、次回はネザサ刈りと間伐に取り組みたいと思います。



細い木の全除伐が必要です。

ネザサがびっしり出始めました。

林道からの入口。草茫茫状態。

以上